

NPO法人 森づくり奈良クラブ

<会報 第84号>

事務局：(公財)奈良県緑化推進協会内
 〒634-0033 橿原市城殿町459
 TEL 0744-26-0200
 FAX 0744-26-0201
 メールアドレス: gvnc@nifty.com
 ホームページ:
<http://gvnc.eco.coocon.jp>



～奥理事長より～ ☆opinion

本題に入る前に：日本の森林に関する誤解を解く

原生林・天然林と人工林と里山林

● **原生林/天然林**：日本にはごく僅か
 …世界遺産・国立公園として保全

● **人工林**：林業の場所
 針葉樹(スギ・ヒノキ)
 収穫までに長年かかる農作物



林業不振



● 里山林

薪炭・肥料を得るための**農用林**だった
 森林面積の3割
持ち主は農家→半世紀放置して荒廃

主に広葉樹とアカマツ
 コナラ、カシ、シイ類など
 農水省統計では**天然林**(使っていないと言
 う意味)。しかし**天然の林ではない**

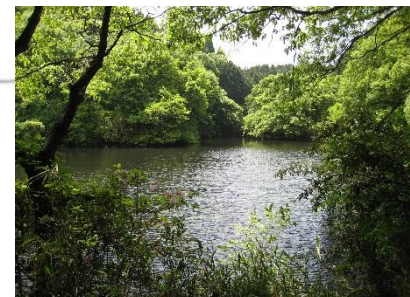
…日本の森林に関する誤解、その2

● 生物多様性の誤解

* **生物多様性が高い ≠ すばらしい自然**
 (種の多様性、種内の遺伝的多様性)

* 里山は人が管理した結果、生物多様性が高まった
 →多様性を上げるための管理は本末転倒(無理)

* **里山風景** →資源を使ったことによる「**機能美**」
 「美しく見せる」のではなく、資源管理の結果美しくなった



定例活動(7月～9月)

毎月第二週土曜日の定例活動は、7月から「もみじ谷の林内整備第二期」が開始となり、もみじ谷下流部ハイキング道沿線の伐木・下刈り・倒木除去、および溪流保全などにこれから約10ヶ月間取り組んでいきます。

また、毎月第四週土曜日は、みんなの森整備に加え、緑ヶ丘登山道・展望台広場の整備、草木染めやクラフトワークなど多彩な取り組みを進めていく計画です。

■7月10日(土)



少し天気は安定しないものの15名が参加し、朝ミーティングの後「もみじ谷」の林内整備と7月末予定の紙漉き体験準備に分かれてスタート。

もみじ谷では、活動初日とあって小野リーダーを中心に皆で該当地域を下見して、これからの取組みの大枠や環境などを確認し作業を開始。

伐木班は対象地の最も下流にあるナラ枯れの伐採を行うとともに、密になっている藪の整理を行い森の整理に努めました。

下刈班は昨年(今年)の終点(今年)の起点から下流へ、ハイキング道を中心に左右の山際の刈払を行い本格的な夏に向けてのハイカーの安全確保を実施。併せて昨年のイロハモミジの植栽地の下刈りも行いました。

紙漉き体験準備では当日の進行予定に沿って、キハダの黄色い色を出す・四葉のクローバーを押し花にする、などの確認ができました。



すっきりしたハイキング道



モミジ植栽地の下刈り



試行作成に成功したキハダ染めと四葉のクローバー



■7月24日(土)



本格的な暑い夏を迎え、そして新型コロナウイルスが猛威を振るおうとする中、18名もの会員が参集し、にぎやかに定例活動が開始。1班はみんなの森の下刈り。大阪市内からの新メンバーを含め暑い中大奮闘でした。

今回のメインは「紙漉きとキハダ染め体験」、講師を含め7名がチャレンジ。作品はどうか様になったようです。

火を起し、和紙作りからキハダによる染色、クローバーなどを添えて型枠に和紙を収め、更に水をきりながら乾燥させアイロンなどもかけて天日干し。こう書くと簡単そうですがかなり苦労しながら、下の写真のように出来上がりました。



講師の説明をききながらみんな真剣な表情で取り組みます

ものづくりは楽しい

■8月7日(土)



オリンピックと新型コロナで騒然とした暑い夏で、自然観察会が中止となる中14名の会員が参加し、8月の定例がリ・サルデ・イスタスでの朝ミーティングからスタート。

メインはもみじ谷の林内整備の2回目です。今回は本流とハイキングコース間に点在するナラ枯れの伐木とはびこってきた下草刈り、および荒れた支流の倒木整理を中心に行いました。伐木のかかり木処理に少し手こずったものの、無事所期の目的を達成し午前中に作業を完了しました。

午後には和気あいあいと壊れたベンチの修理や、チェーンソー整備など落ち着いた作業を進めることができました。



モミジ谷のナラ枯れ処理もひと段落

清流沿いもきれいにします

ペンキ塗りもおてのものです

■8月28日(土)



しつこい雨も上がり、なお暑さ増す8月末、新型コロナが猛威ふるう中にもかかわらず、体験参加の女性2名を含む大勢が参加。ミーティングは交流館で行いました。

この日は午前はみんなの森の下草刈りと管理道・ハイキング道周辺の整備を中心に取り組み、午後は車庫・炭竈まわりの草刈りなどに精を出して気持ちの良い汗を流しました。



モミジ谷ハイワ道入口

体験参加の人もがんばってます

みんなの森の草刈り

倒木の処理

■9月11日(土)

もみじ谷の林内整備の3回目、天気が心配されましたが、10名以上の会員が参加。

前回までのハイキング道周辺の整備から渓谷沿いの倒木処理や笹藪の整理など広い範囲の取組みに広がってきました。特に笹藪を散髪したことで清流が見えやすくなってスッキリした景観になってきたと思います。また、「矢田山遊びの森」の看板・オブジェ回りの垣根の剪定・刈込みも行いました。



危険なナラ枯れの伐採、笹藪の整理、清流沿いの下草刈りと倒木除去

■9月25日(土)

矢田山遊びの森と奈良阪の里山の2か所に分かれて行いました。



10月2日(土)に行われる奈良市主催のイベントに向け奈良阪元明天皇陵そばの里山に3名で草刈りや倒木整理、当日使用する竹の準備などを行いました。

ツル性植物の繁茂や枯木など貴重な里山として保全していく必要性も感じました。

矢田山は13名参加で、頂上展望台周辺の草刈り、遊びの森入口付近のツツジの植込みの散髪、劣化の激しいクラブ横断幕の補修の3班に別れ開始。草刈りは活動が活



頂上展望台周辺の草刈り

垣根のツツジ剪定

横断幕の修繕

発になってきたスズメバチに十分注意しながら無事目的達成。つつじ剪定も分担とチームワークのよさで終わり、横断幕も必死の修繕で籠の延命ができました。

自主活動(7月~9月)

毎月第一週日曜日と第三週水曜日の自主活動は、旧矢田山三角点から頂上展望台への沿線整備2年目に入り、この四半期は三角点の尾根沿い、南側斜面、西側斜面を中心にナラの枯損木伐採・過密になっている尾根及び南側斜面の下刈り、および桧植林の間伐などを中心に取り組みました。また、機器管理徹底の意味からの担当チェーンソー割当や、春に植樹した天川村洞川のキハダ植林地の下草刈りなども行って、充実した夏になったと考えています。



■7月4日(日)は11名参加。三角点南側のナラ枯れ枯損木の伐採と倒木整理を中心に行い、管理道付近のナラ枯れによるハイカーへの危険回避が大幅には図れました。午後は懸案でもあった機器管理の徹底へ、保有チェーンソーの管理割当を決め、小野理事による毎月・月次・6M周期の点検要領等の講習会が行われ、スキルアップも図れました。

■8月18日(水)は残念ながら雨天中止。8月1日(日)、9月5日(日)は三角点南側斜面を中心とした枯損木処理を行い、この辺りの危険なナラ枯れについては除去の区切りがつかしました。またハイキング道から旧三角点を経て北西に伸びる尾根の密となっていた藪の整理も行い、スッキリとした秋景色が見られそうです。



■9月15日(水)は5名が参加。この日から三角点西側の暗くなっている桧林の間伐を開始。

かかり木となりやすいこともあり伐倒方向に細心の注意をはらいながら、経験豊富でスキルの高い清原さんから、クサビ活用での安全確保と伐倒方向の確定や、フェリングレバーを活用したかかり木への対処など、参考となる1日でした。今後も森林保全に加え、安全と技術修得へ実践的なOJTの場として、この活動を続けたいと考えています。



■7月22日(木)は5名参加で天川村洞川温泉南側のキハダ植林地の下草刈り。キハダも順調に生育していました。

この秋に第2弾の植樹も計画されており、地域への貢献になればと期待されます。

提 案

ホームページの最後に「SNS」というページがあり、まだ運用していないものの会員間のコミュニケーション用にと考えています。

ページのパスワードは「」。中にfacebookのページが2つあり、上段は小野さん作成で会員外含めオープンに読み書きできます。下段はプライベートグループ用でここに会員が「友達リクエスト」して「承認」でメンバー入り。その後は会員間のみ閉じた連絡や会話ができますので、参加検討ください。(不明なことは右欄のメールで)

■発行人 NPO法人 森づくり奈良クラブ
奥 恵一郎

〈後記〉 今回で2回目の発行ですが、3ヶ月分の記事はやはり整理が難しい。自分が把握できない回や班もありますので、写真や簡単なコメントなど何でもいのでホームページのメルアドまで送っていただくとありがたいです。(衛藤)
gvnc@nifty.com へ